

大腸癌研究会プロジェクト研究

「MRI 診断能に関する研究」委員会 第 9 回議事録

研究代表者 川合一茂(東京大学腫瘍外科)

日時 第 95 回大腸癌研究会・2021 年 7 月 1 日(木)10:30~11:00

場所 旭川市民文化会館 ※Web 形式

出席者： 愛須佑樹、上野剛平、上原圭、碓井彰大、岡田倫明、小川真平、小野智之、梶原由規、清松知充、小杉千弘、小林宏寿、小森康司、小山文一、坂本一博、塩見明生、進士誠一、杉本起一、須藤剛、須並英二、諏訪雄亮、高雄美里、花井恒一、濱田円、肥田侯矢、星野伸晃、松田圭二、三浦卓也、三品拓也、森川充洋、山内慎一、山口達郎、渡邊純

【50 音順】

【敬称略】

**議題 1. 前回議事録確認**

前回プロジェクトミーティングの議事録に関し、ご意見がないか確認した。

**議題 2. Step1 について**

1) 論文投稿状況について

川合より、Step1 解析結果に関する論文を現在投稿中であることを報告した。

2) 予後調査ご協力をお願いについて

症例ご登録後 3 年経過している症例に関して、予後調査票の提出状況を報告し、未提出の施設へ、予後調査票提出のお願いをした。

**議題 3. Step2 について**

目標症例数は 122 例であり、現在 29 例ご登録いただいていることを報告した。

今後の症例のご登録を各施設にお願いした。

**議題 4. 附随研究 AI を用いた MRI 画像による側方転移診断の研究・東京大学**

事務局担当医師尾崎より、AI の初期解析結果、進捗状況を報告した。

質疑内容・意見

- ・放射線科医による画像診断と比較検討することを追加すべきか(京都大学・岡田先生)
- ⇒画像データが膨大であり、現実的にご協力いただける放射線科医がいるかどうかの問題

点である。ご協力いただける放射線科医をご存じの場合は事務局へご連絡をお願いした。

・用いた画像データは前治療を行っているものも含まれるのか(京都大学・星野先生)

⇒今回用いた画像データは全て前治療前のデータである。

・前治療が入ってしまった場合には元々陽性であったものが陰性になった場合、診断が難しいのではないか。(京都大学・肥田先生)

⇒ご指摘の通りであり、陽性であったものが陰性化したものを同定するのではなく、陽性を見逃さないことが重要であると考えている。

#### **議題 5. 附随研究 CT を用いた側方転移診断の研究・名古屋大学**

名古屋大学上原先生より、進捗状況を報告した。

#### **議題 6. その他**

・京都大学における附随研究：

前治療によるリンパ節径の変化と転移予測の関係について。主論文の掲載のめどが立った段階で論文化することを報告した。

・Step1 画像データの Cloud 上への Upload が完了している。画像を用いた附随研究のご希望がある際は事務局へのご連絡をお願いした。